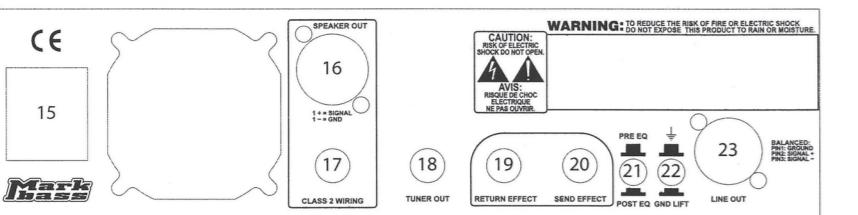


3. リアパネル



- 15 AC/パワー・ソケット
16 スピーカーアウト (スピコン/ 1/4" フォーン・コンボ・ジャック)
17 スピーカーアウト (1/4" フォーン・ジャック)
18 チュナー・アウト (1/4" フォーン・ジャック)
19 エフェクト・リターン (1/4" フォーン・ジャック)
20 エフェクト・センド (1/4" フォーン・ジャック)
21 プリ/ポスト・イコライザー・コントロール・スイッチ (ラインアウト(XLR)用)
22 グランド・リフト・コントロール・スイッチ (ラインアウト(XLR)用)
23 バランスド・ラインアウト (XLR)

SPEAKER OUT

2のスピーカーキャビネットを接続することができます。高品質なノイズリダクション・スピコン・コンボジャック(16)には、スピコンケーブルまたは1/4"スピーカーケーブル、どちらも使用することができます。セカンドスピーカージャック(17)には、1/4"ケーブルしか使えません。スピーカーケーブルを使用し、楽器用のケーブルは使わないでください。

コンボヘッドの場合、もともとスピーカーに接続されていますが、外部のキャビネットに接続することもできます。本体のスピーカージャックからケーブルを取り外し、外部のスピーカーキャビネットに接続します。または2つのジャックを利用して、本体のキャビネットと外部のキャビネットを同時に使うこともできます。

TUNER OUT

チュナー・アウト(18)はチュナーにアンバランスド信号を送ります。ペダルを経由して音質を低下させてしまう、といったことがありません。このアウトプットは他のアンプや、バランス入力でなくてもよいレコーディング機器に使うことができます。

EFFECT SEND AND RETURN

リアパネルのエフェクト・センド(20)とエフェクト・リターン(19)を利用して、エフェクトペダルやラック製品を使うことができます。この接続をしていれば演奏中に外部エフェクターのバッテリーが切れても、音がとぎれません。

LINE OUT

このバランスドXLRラインアウト(23)は、ライブやスタジオにおいて、バランス信号をミキシング・コンソールなどに送り出することができます。このラインアウトのシグナルは、プリ/ポスト・イコライザー・コントロール・スイッチ(21)によって、プリEQ (EQやフィルターのセッティングが効いていない)または、ポストEQ (EQやフィルターのセッティングが効いている)を選択することができます。

ングが効いている)を選択することができます。

GROUND LIFT

ライブなどで演奏中、ラインアウト(23)使用などの際、アンプの信号にハムノイズが発生する場合があります。これは電源と関連したグラウンドの状態に起因するものです。このグラウンド・リフト・スイッチ(22)を切り替えることにより、ハムノイズを除去することができます。

4. 技術的仕様

INPUTS

- インプット (1/4" ジャック)
インピーダンス 500KΩ、最大ボルテージ 15Vpp
バランスド
インピーダンス 100KΩ、最大ボルテージ 25Vpp
エフェクト・リターン
インピーダンス 33KΩ、最大ボルテージ 10Vpp

CONTROLS

- ゲイン -60 dB ~ +23dB レンジ
ラインアウト レベル・コントロール (フロントパネル)
プリ/ポスト EQ (ラインアウト用) スイッチ (リアパネル)
グランド・リフト スイッチ (リアパネル)
マスター・ボリューム

EQUALIZATION

- ロー 中心周波数 40Hz、レベル ±16dB
ミッド・ロー 中心周波数 360Hz、レベル ±16dB
ミッド・ハイ 中心周波数 800Hz、レベル ±16dB
ハイ 中心周波数 10KHz、レベル ±16dB
VLE (ヴィンテージ・ラウドスピーカー・エミュレーター)
最大カット・レンジ 250Hz~20KHz
VPF(バリエブル・プリシェーブ・フィルター)
中心周波数 380Hz (カット)

OUTPUTS

- エフェクト・センド アンバランス、最大ボルテージ 20Vpp
チュナー・アウト アンバランス、最大ボルテージ 2Vpp
ライン・アウト バランス XLR、最大ボルテージ 20Vpp
スピーカー・アウト スピコン、1/4" ジャック

電源 100V 50/60Hz (日本仕様)

注意: 工場出荷時に使用される国(ヨーロッパ)のボルテージに設定されています。
改造によるボルテージの変更はおやめください。

FUSE

Little Mark 250:	
日本	6.3A 250V T 5x20
ヨーロッパ、オーストラリア	3.15A 250V T 5x20
アメリカ、カナダ	6.3A 250V T 5x20

5. Specifications:

CMD JB PLAYERS SCHOOL

Power: 250W (4 Ω) / 150W (8 Ω)
Preamp: Solid State / Power Amp: Analog
Gain & Master Controls, EQ: 4-band / VPF & VLE,
Pre / Post EQ (DI), Line Out & Level Control, GND
LIFT
Tuner Out, Effect Loop, Speaker Out (Speakon +
1/4" Combo Jack)
Speaker: 1x15", Speaker Power Handling: 300W
RMS (8 Ω), Frequency Response: 40Hz - 5kHz
475(W) x 464(H) x 25.5cm, 2.6kg

Little Mark 250 Black Line

Power: 250W (4 Ω) / 150W (8 Ω)
Preamp: Solid State / Power Amp: Analog
Gain & Master Controls, EQ: 4-band / VPF & VLE,
Pre / Post EQ (DI), Line Out & Level Control,
GND LIFT, Tuner Out, Effect Loop,
Speaker Out (Speakon + 1/4" Combo Jack)
27.6 x 7.1 x 25.5cm, 2.6kg
276(W) x 83(H) x 250(D)mm, 2.3kg

CMD JB PLAYERS SCHOOL

Little Mark 250 Black Line



取扱説明書

Markbass / DV Mark 日本総代理店: パール楽器製造(株)

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

TEL: 047(484) 9111(代) 営業部 TEL: 047(450)1113

改良のため予告なく仕様の一部を変更することがありますので、予めご了承下さい。

2017年9月作成

●製品に関するお問合せ

パール楽器製造(株)テクニカルサポート

TEL 047-450-1090

安全上の御注意！

この度は Markbass ベースアンプをお買いあげいただき有難うございました。

- ・使用開始前に、安全のため下記の説明を良くお読み下さい。
- ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。
- ・本書では危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

・本書で使用する絵表示は、次のような意味です。

	警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

製品に記されているすべての注意書きに従って下さい。
・長期間使用しないときは必ず電源を抜いて下さい。
・延長コードをご使用になる場合は必ず容量に見合ったものをご使用下さい。
・電源コードは手荒に扱わないで下さい。定期的に断線していないか、あるいはその兆候がないかチェックして下さい。特に両端のモールドの部分に捻れがないか注意して下さい。
・電源コードの上には何も置かないで下さい。通路にはコードがかかるないように設置して下さい。

注意
・キャビネット内の空間、裏面や底面の穴は通気のために設けてあります。穴をふさいだり覆つたりしないで下さい。十分な空間がないとオーバーヒートの原因になります。本製品をビルトインで設置する場合は、適切な冷却装置を必ず使用下さい。
・長時間大音量で演奏すると、耳に負担がかかり、難聴になる危険があります。やむをえず必要な場合には、耳栓を使用するなどして、自衛手段を講じて下さい。

警告
・この製品は水気のあるところでご使用にならないで下さい。
・この製品を不安定な台車、スタンド、またはテーブルなどの上に置かないで下さい。製品が落として故障の原因となることがあります。
・付属の電源コード以外ご使用にならないでください。また、製品の裏面に表示してある電圧以外での使用は避けて下さい。

禁止
・アンプの上にドリンクなどおかないで下さい。こぼれて故障や感電の原因になります。
・絶対にご自分でカバーを開けて修理、改造等しないで下さい。製品の内部には高電圧の部分があり大変危険です。必ずお買上になった販売店までお問い合わせください。
・下記の場合ただちに電源を抜き必ず修理又は点検にして下さい。
*電源コードまたはプラグが破損した場合。
*製品の上に液体がかった場合。
*製品に水や雨がかった場合。
*説明書通り操作しているにもかかわらず正常に作動しない場合。
*製品が落した場合やキャビネットが破損した場合。
*音質等性能が著しく変化した場合。

ヒューズを交換する際は、必ず同じ規格の物を使用して下さい。異なる規格の物を使用すると、発火や、故障の原因になります。
・ストーブ等の火気の近くには設置しないで下さい。

発火や感電を防ぐため、湿度の高いところや雨のあたるところではご使用にならないで下さい。キャビネットの隙間などから異物を入れたりしないで下さい。
内部には専門家以外の方で修理できる箇所はございませんので、異常が発生した場合はお買上になった販売店にご連絡ください。

1.はじめに

CMD JB PLAYERS SCHOOL

Markbass アーティストのジェフ・バーリンは、1996 年に自らフロリダに設立した、ザ・プレイヤーズ・スクール・オブ・ミュージックの校長でもあります。

ザ・プレイヤーズ・スクール・オブ・ミュージックは、音楽のみを教え、メトロノームを使うなどの効果のない練習を避けるようにプレイヤーたちを指導するなど、斬新な教育方針を打ち出しました。この学校では、芸術を学問から分離することで、プレイヤーズ・スクールのほとんど全ての学生がプレイヤーとして進歩するための学習環境を整えています。

ジェフのこの素晴らしいミュージック・スクールに因んで名付けられた CMD JB PLAYERS SCHOOL コンボは、ザ・プレイヤーズ・スクール・オブ・ミュージックの学生ばかりでなく、世界中の学生にうってつけのアンプです！

軽量コンパクトで持ち運びに便利というだけでなく、プロ仕様の良質なサウンドを持つコンボ・アンプで練習したり演奏したりする事が、学生にとってどんなに大切か、私たち Markbass のスタッフはよく心得ています。このコンボは、そういった要求の全てを満たす、賢い選択肢となるものです。このコンボは低価格でありながら、当社のあらゆる製品と同じ品質基準が適用され、製造過程において当社の技術者たちがあらゆる製品に行っているのと同じ品質検査を受けています。

「CMD JB PLAYERS SCHOOL コンボは、マークベース製品ならではの素晴らしいトーンと、手頃な価格の高品質なキャビネットを組み合わせたアンプです。私は良いトーンを持ったアンプにしか興味はありませんが、このアンプにはそれがあります！ これは私にとっても、練習とギグの両方に使えるアンプです」とはジェフの弁。

CMD JB PLAYERS SCHOOL コンボは、楽に持ち運べるサイズで、重さも 15.7kg しかありません。サウンドはプロ製品並みで、全ての Markbass 製品と同様、アンプをフラットにセットして、楽器をつなぎ、ボリュームを上げるだけで、求めるサウンドが得られます。イコライザーは、通常とは異なる会場の音響を補正するためにだけ使えば良いのです。学生、プロを問わず、誰もがプロ仕様の素晴らしいサウンドで演奏する権利を持っています。そのためにも、このコンボを選ばべきです！

Little Mark 250 Black Line

Black Line シリーズの製品は、当社のあらゆる製品と同様の最新技術を取り入れ、高品質なパーツを使用し、品質検査を受けています。Little Mark 250 Black Line は、フルパワーで 500 ワットもの出力を必要としないプレイヤーのため、賢明かつ手頃な価格の選択肢で、練習やリハーサル、小規模のギグに最適です。

2. フロントパネル



1 アンバランス 1/4" 入力ジャック

2 バランス XLR入力
3 ゲイン・コントロール・ノブ

4 クリップ LED

5 ロー・イコライザー・コントロール・ノブ

6 ミッド・ロー・イコライザー・コントロール・ノブ

7 ミッド・ハイ・イコライザー・コントロール・ノブ

8 ハイ・イコライザー・コントロール・ノブ

9 VLE (Vintager, Loudspeaker, and Emulator) フィルター・レベル・コントロール・ノブ

10 VPF (Vario, Preamp, and Filter) レベル・コントロール・ノブ

11 マスター・ボリューム・レベル・ノブ

12 ライン・アウト・レベル・ノブ

13 パワーオン LED

14 メイン・オン/オフ・スイッチ

INPUT

1/4" インプットジャック(1)は、パッシブとアクティブのベース両方に使うことができます。バランスドインプット(2)は、バランスド XLR インプット用でアコースティックベース・ピックアップにも対応します。このインプットでは、ベース演奏と同時にマイクを接続して使うことができます。

GAINとMASTER

フロントパネルには、ボリュームをコントロールする2つのノブがついています。GAIN (3) はアンプユニットのイコライザーやエフェクトループといった機能を含むプリアンプ部に、どれくらいのシグナルを入力させるかをコントロールするものです。MASTER(11)ボリュームはパワーアンプ部からスピーカーキャビネットへの出力を調整するものです。

もしプレイ中に青いCLIPランプ(4)が点灯したら、歪みをなくすためにゲインを下げて下さい。

アンプに楽器を接続する前には、必ずゲイン(3)とボリューム(11)を絞った状態にしておいてください。そして、楽器側のボリュームをフルにし、強く激しく音を出しながら、GAINコントロールを青いランプが点灯はじめるくらいに上げてください。次に、演奏してもライトが点灯しない程度にGAINをやや絞ってください。この手順により、いま演奏しているベースにとって最適なゲインに設定することができます。なお、ピックアップやアクティブ/パッシブタイプ、またプリアンプやEQのセッティングなどにより、ベースが異なるとアウトプットレベルもそれぞれ異なります。

いったんGAINレベルをセッティッドしたら、あとはMASTERノブでボリュームを調節してください。

EQUALIZATION

マークベースアンプはお持ちのベースのナチュラル・サウンドを忠実に再生できるよう設計されています。もしあなたが良い楽器をお持ちならば、イコライゼーションは最低限にとどめておくのがよいでしょう。ベースギターは聞こえないほど超低域から、ツイーターで鳴らすような、またはほど聞こえないような超高域にわたる、極めて幅広い周波数域を再生する楽器なのです。EQのセッティングをいくつか試してみるとわかりますが、異なる周波数域それぞれが、ベースのトーンを作り出す上において欠くことのできない重要な役割をなしているのです。

LOWコントロールが扱う周波数域は、サウンドにパワー感をもたらす音の土台ともいべき要素で、リストナー、そしてあなたの体をゆさぶり、時には人々が体を動かし・踊りださせてしまうような性質を持つものです。

MID LOW (Mid Frequency Low) はベースサウンドの音圧感を高めるコントロールで、空間をみたすような遠達性のある音を作りだします。

MID HIGH (Mid Frequency High) は、演奏のピッチ感や音程感を調整するに適したコントロールです。ベースのメロディ・ラインを明瞭に聞かせることができます。透明感豊かな周波数域ということができます。別言すれば、この周波数域が明瞭でないと、あなたが作り出すメロディックなベースサウンドが音楽のなかに埋没してしまう、ということができます。

HIGHの周波数域はアタックや音程感といったパーカッシブな特性を持つもので、これには指/ピックでの弾弦やフレットノイズ、スラップや演奏時のビリつきなどが含まれています。

アンプのイコライザー・コントロールのうちのどれか1つ

が操作されているというだけで、あなたのベースが生み出す本来のサウンドは正確に反映されなくなってしまう、という言い方もできます。リトルマークIIは全ての周波数域にわたってクリアで明瞭なサウンドを生み出しができるよう設計されていますので、イコライザーのノブが12時のフラットな位置にしておけば、あなたのベース本来のサウンドを再生することができるのです。

ただ、下記のような状況では、イコライゼーションを行う必要があります。

1. お持ちのベースのサウンドそのものが、特定の周波数域が弱いという特徴を持っている場合。

2. 韻きが悪く、特定の周波数が強調されてしまう部屋や会場での演奏。例えばステージなどで、低域が極端に鳴ってしまう場合や、ある音域だけが目立って大きく鳴ってしまう場合などがこれにあたります。この場合、問題のある周波数域を絞るなどして調整する必要があります。

3. 一種のエフェクトとして音色を変化させようとする場合。

イコライゼーションは繊細に行ななくてはなりません。セッティングの変更を始めるときは、まずEQコントロールをすべてニュートラル(12時)の位置にし、アンプから出力されるベースの音を聞きながら、じっくりと時間をかけて行ってください。いずれにせよ、あまりコントロールに大きな変更を加えない方が理想的です。

VLE、VPFフィルター

イコライゼーションによってあなたのベースサウンドに特別な効果をもたらす、マジックとも呼ぶべき2つのコントロールノブを装備しています。ベーシストにとっての実戦的な要求に応えるべく、特に設計されたものでの、通常のEQよりもひんぱんに使われるノブといえます。

VLEフィルター(9)(ヴィンテージ・ラウドスピーカー・エミュレーター)は、高域をカットし、メロウなサウンドを作り出します。時計回りにノブを回すと、カットされる高域の周波数が広範囲になります。このEQは、アコースティック、またはオールディーズ風の音楽に有効です。

VPFフィルター(10)(バリアブル・ブリッシャー・フィルター)は、低域と高域をブーストし、中域(380Hz周辺)をカットします。ロックには最適なパワー感が得られるフィルターであり、またスラップベース・プレイヤーの好みにも合うフィルターといえます。

この2つのフィルターは最初、オフの状態にしておき、徐々にお好みの効き具合に調整してゆくと良いでしょう。また、調整は当初、一方ずつを行い、追って2つのフィルターを組み合わせると、素晴らしい効果が得られることでしょう。